

## 社団法人東京建設業協会

### 設立趣意書

東京建設業協会は、終戦の混乱期に、他の産業界に魁けて、いちはやく国民生活の安定と、業界の向上発展とを図ることを目的とし、国土再建に挺身することを使命として、技術・信用・責任に於て欠くる処のない建設業者がその力を結集して、任意的な性格による自由な同業者団体として設立されたものである。

然るに創立後既に七カ年を経過し、その間、内外に於ける客観的諸条件の変化に伴い当時の社会情勢とは著しい相違を生ずるに至り、産業団体として責務の重要性を増すと共に、任意団体として法人格を持たないことの不便を感じるようになったのである。

東京建設業協会は過去に於て政府の政策に協力し、幾多の社会的重大使命を果して来たのであるが、事業活動の実際に照らし、実務の遂行上、此の際公益法人として明確なる法人格を持つことが、対社会的な折衝の点からも、信用の点からも経済的な見地からも或いは又、法律的な責任の所在を明確にする点からみても必要であると思われられるので、現在の東京建設業協会を発展的に解散し、改めて社団法人東京建設業協会を設立する所以である。

勿論、新団体は、東京都内の自覚せる建設業者の大同団結による業界の総意を代表する機関であって、その根本精神に於ては従来 of 団体と何等異なることなく、その運営が民主的に、且つ公正に行なわれるべきは当然のことである。

敢えて業者各位の御賛同を冀う次第である。